

保証書

保証期間内に取扱説明書等の注意書きにしたがって正常な使用状態で使用していて故障した場合には、お買い上げの販売店に本書をご提示の上、修理をご依頼下さい。

型名	コンパクトバキューム ACVC-600	お買い上げ日	保証期間
		年 月 日	お買い上げ日より 6か月
販売店	販売証明書やレシート等を添付してください。		

- 保証内容は本製品自体の無償修理に限ります。
- 保証期間内でも次のような場合には有料修理となります。
 - (イ) 使用上の誤り及び不当な修理・改造による故障及び損傷。
 - (ロ) お買い上げ後の輸送・移動・落下等による故障及び損傷。
 - (ハ) 一般家庭用以外(業務用、レンタルなど)に使用された場合の故障及び損傷。
 - (ニ) 定格時間以上のご使用、または定格時間内であっても激しい連続作業でご使用になった場合の故障及び損傷。
 - (ホ) 火災・地震・水害・落雷・その他天災・異常電圧による故障及び損傷。
 - (ヘ) 本書のご提示がない場合。
 - (ト) 本書に販売証明書やレシート等、お買い上げ年月日を証明できる物が添付されていない場合、あるいは字句を書き換えられた場合。
- 本書は付属品・消耗品には適用されません。
- 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.
- 本書は最初の購入にのみ適用され、以降の転売・譲渡には適用されません。
- 本書に記入のあるお買い上げの販売店に修理をご依頼になれない場合には当社までご相談ください。
- 保証期間経過後の修理や部品取り寄せについてはお買い上げの販売店にご依頼ください。
- 当社は本製品の補修用部品を製造終了後から基本7年間保有しております。

お客様
相談窓口

☎ 03-3252-8861

受付時間: 9:00~12:00 13:00~17:00
(土日祝日及び弊社休日を除く)

修理及び別売品の購入はお買い上げの販売店にご依頼ください。左記相談窓口では直接対応できません。あらかじめご了承ください。

SHINKO 株式会社 新興製作所

本社 〒101-0035
東京都千代田区神田紺屋町11番地
TEL: 03-3252-8861

修理工場 〒340-0002
埼玉県草加市青柳6-30-9
TEL: 048-931-4151

ホームページ <https://www.shinko-ss.co.jp>



コンパクトバキューム ACVC-600 取扱説明書



二重絶縁

家庭用

本製品は家庭用です。業務用にはお使いにならないでください。

このたびはコンパクトバキュームをお買い上げいただきましてありがとうございます。
ご使用に際しては、必ずこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくご使用ください。
お読みになった後は、必ず保存してください。

安全にご使用いただくために特に注意していただきたいこと

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐために、次の「⚠警告」を必ず守って下さい。
 - ご使用前に、この「⚠警告」をよくお読みの上、指示に従って正しくご使用下さい。
 - お読みになった後は、電動工具をお使いになる方が、いつでも見られる所に保管して下さい。
- ※本文は共通事項であり、製品により合致しないことがあります。

⚠ 警告

1.作業をするときの服装について

- 電動工具を使用するときは長袖、長ズボン、帽子、保護メガネ、手袋等を必ず身につけて下さい。屋外作業するときはゴム手袋、滑り止めのついた履物をおすすめします。
- 作業中、本工具（砥石等）の破損、加工する材料が急に回転したり、飛んだとき、思わぬけがの原因となります。
- 作業中はだぶだぶの衣服や、ネクタイ等は着用しないで下さい。
- 作業中、回転部に巻きこまれ思わぬけがの原因となります。
- 粉じんの多い作業のときは、保護メガネ、防じんマスク等を着用して下さい。

2.作業をする場所について

- 作業場、作業台は整頓して、きれいなところで作業をするようにして下さい。
- ちらかった作業場、作業台は事故の原因となります。
- 作業は常に明るい場所で行うようにして下さい。
- 暗い場所での作業はけがの原因となります。
- 電動工具のモーターが回転するときに火花が発生します。又、研削するときに研削粉が火花となって飛散します。可燃性の液体やガスのある場所では絶対に使用しないで下さい。
- 可燃性の液体やガスに引火しますと火災や爆発の恐れがありますので、特に注意が必要です。
- 作業場は作業員以外は近づけないで下さい。又、作業員以外の人には電動工具や電源コードに触れさせないで下さい。
- 作業場の近くに作業員以外の人がいったり、電動工具に触れたりしますと思わぬけがの原因となります。
- 電動工具は雨の中、湿気が多い場所では使用しないで下さい。
- 感電の恐れがあり大変危険です。

⚠ 警告

3.電気について

- 使用電源は銘板に表示してある電圧でご使用下さい。
- 表示を越える電圧で使用しますと回転が異常に高速となったりし、機体が破損する恐れがあり危険です。
- 感電防止のため漏電しゃ断器が設置されていることをご確認下さい。二重絶縁品を除き、必ずアースを接地して下さい。

4.取扱について

- 電動工具を使用するときは取扱方法、作業の仕方、周囲の状況等に十分注意をして作業をしてください。
- 電源に電源プラグを差し込む前に本機のスイッチを切ってください。
- スイッチを入れたまま電源プラグを差し込みますと、不意に起動して思わぬ事故の原因となります。
- ご使用前に本機に損傷がないか、正常に作動するか、工具（砥石等）にひび割れ、キレツがないか、ネジが確実に締まっているか、工具（砥石、ドリル等）が確実に付いているかをご確認ください。万一、本機に損傷、異常がありましたら取扱店、又は当社に修理を依頼して下さい。
- ネジがゆるんでいたり、工具が正確にセットされていない時は本機の破損、けがの原因となります。
- 初めて本機を使用するとき、工具(砥石、ドリル等)を交換したときは3分以上試運転をしてください。その日の最初の作業のときは作業前に1分以上動作させてください。
- 試運転をしないで作業を開始しますと、思わぬけがの原因となります。
- 作業の都合で保護カバーを取り除いたり、改造はしないでください。
- 規定外の方法でご使用になりますと本機の破損、けがの原因となり大変危険です。
- 運転中は回転部、工具の作動部（砥石、ドリル等）等には絶対に触れないでください。
- 本機の点検、掃除、工具（砥石、ドリル等）の交換等のときは必ずスイッチを切り、差し込みプラグを抜いてください。又、作業が終わりましたら必ず差し込みプラグを抜いてください。
- スイッチ、差し込みプラグを入れたまま点検、掃除、工具の交換、放置等をしますと不意に起動して思わぬけがの原因となります。

⚠ 警告

- 運転中、本機の調子が悪くなったり、異常に気がついたときはスイッチを切り、電源プラグを抜き、点検、修理に出してください。
- ・ 異常な状態で連続運転しますと、本機の破損を招くばかりでなく大変危険です。
- コードを持って本機を運んだり、コードを引いて電源プラグを抜いたりしないでください。又、コードが刃物などの鋭利なもの、高熱のものに触れないように注意してください。
- ・ コードが損傷しますと大変危険ですので直ちに交換をしてご使用ください。
- 工具（スパナ、ネジ回し等）は、運転前に必ず本機から取り除いてください。
- ・ 工具を本機や至近に置いて運転させますと思わぬけがの原因となります。
- 本機は取扱に不慣れな人、正しい操作のできない人には絶対に使用させないでください。
- 加工するものはクランプや万力でしっかりと固定して加工をしてください。
- ・ 加工するものがしっかりと固定されていないときは、材料がとんだり振りまわされて思わぬ事故の原因となります。
- 電源プラグを差し込み、スイッチに指をかけて運ばないでください。
- ・ 不意に回転して思わぬけがの原因となります。
- 安全に能率よく作業をするために、本機的能力を超えた無理な作業はしないでください。
- ・ 能力を超えた作業は本機の破損のみならず寿命を短くします。又、けがの原因となります。

5. 手入と保管について

- 常に本機の手入に心がけ、長期間安全にご使用ください。
- ・ 使用後よごれたままで湿度の高いところに放置しますと、本機の寿命を短くします。
- 刃物類は常に手入をして良い切れ味でご使用ください。
- ・ 切れ味が悪いと仕上り面が悪くなるばかりでなく、モーターに負荷が多くかかり作業能率が悪くなります。
- 本機を常に安全に能率よくご使用していただくため、定期的に点検をしてください。
- ・ 修理、点検は販売店、又は当社にお申し付けください。
- 作業が終わりましたら塵を取り除き、手入をしてお子様の手のとどかない湿気の少ないところに保管してください。

☞前記は電動工具を使用するときの共通の注意事項です。製品により合致しないところがあります。

コンパクトバキュームご使用上の注意

先に電動工具としての共通の警告・注意事項を述べましたが、コンパクトバキュームとして、さらに次に述べる警告・注意事項を守ってください。

⚠ 警告

- 電源は銘板に表示してあるAC100Vの電圧でご使用ください。
- 本書に記載の用途以上の作業に使用しないでください。
- 本機を動作させたまま放置しないでください。
- 火の近くや高温の場所では使用しないでください。
- 本機のモーター部は防水ではありません。雨中・濡れた場所・湿気の多い場所では使用しないでください。
- 本機が転倒したときは内部のフロートが動き吸引がストップします。一度電源を切ってから本機を起こし内部のフロートを本来の位置に戻してから使用してください。
- 通常の使用では必ず微粒子フィルター、紙パックを取り付けてください。また、紙パックは消耗品なので吸い込む力が落ちてきたら交換してください。
- 水などの液体を吸い取る時は紙パックを外し、微粒子フィルターを液体用フィルターに付け替えてから使用してください。
- 本機を踏み台にしたり、座ったりしないでください。
- 液体を吸い取ったときは必ずタンクと液体用フィルターを水洗いし、完全に乾燥させてください。
- 鋭利な刃物や針、大きな木片や鉄、ガラス、石などは吸わせないでください。本機内部を傷付け破損の原因になります。
- 粘度の高い液体は内部に付着して故障の原因になるので吸い込ませないでください。
- タバコの吸い殻などの火の点いた物は吸い込ませないでください。
- 液体をタンク一杯まで吸い込ませるとフロートが作動してそれ以上吸い込みが出来なくなります。タンク内の液体を捨て、フロートに戻してから使用してください。
- 本機の異常に気づいた時は直ちに使用をやめてお買い上げの販売店もしくは弊社にご連絡ください。

仕様明細

型 式	ACVC-600
電 圧	AC100V
周 波 数	50/60Hz
消 費 電 力	600W
電 流	6.2A
最 大 真 空 度	約13kPa
最 大 風 量	1.8m ³ /min
騒 音 値	約77dB
吸 込 仕 事 率	80W
集 じ ん 容 量	乾式:約2ℓ 紙パック使用時:約1.2ℓ / 湿式:約2ℓ
電 源 コ ー ド 長	2.5m
本 体 質 量	1.99kg
定 格 時 間	30分

※品質改良のため製品仕様が変わることがあります。

延長コードについて

- 電源が離れていて延長コードが必要なときは、最高の能率でご使用いただくために、十分な太さのコードを、できるだけ短くご使用ください。
- コードの太さ(導体公称断面積)と最大長さの関係(ご参考)

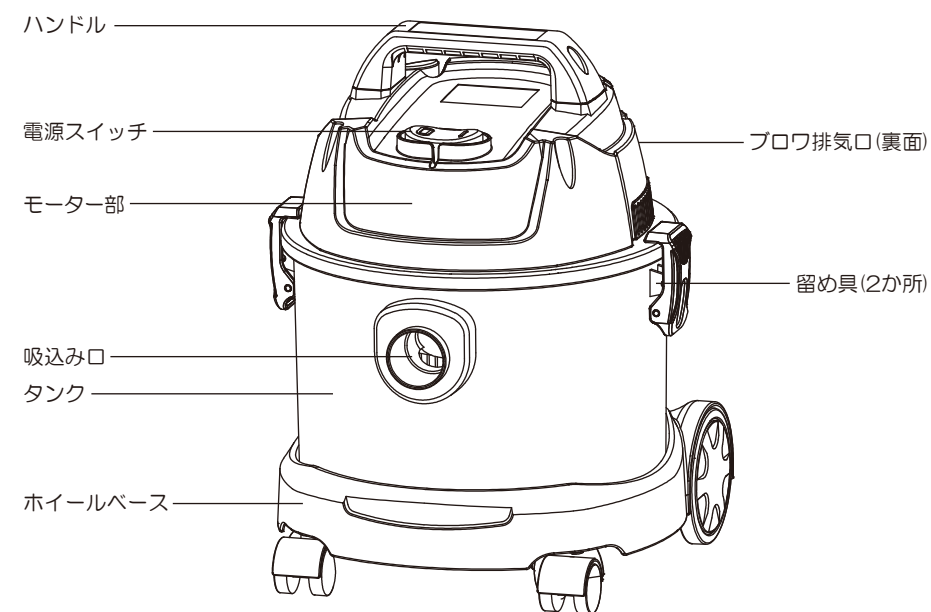
コードの太さ(導体公称断面積)	延長コードの長さ
1.25 mm ²	15 m
2.0 mm ²	20 m

国ドラム式の延長コードをご使用の場合は、使用中の発熱などによる電圧降下を防止するため、コードはすべて引き出してご使用ください。

用 途

- 塵やほこり、木くず等の集じん
- こぼした水などの液体の吸込みに
- 塵やほこりの吹き飛ばし

部品の名称



付属部品

		
蛇腹ホース	ストレートパイプ 3本	フロアノズル
		
ウェットノズル	隙間ノズル	孔径変換アダプター
		
微粒子フィルター	液体用フィルター	紙パック 1枚

ご使用前の準備

■微粒子フィルター、紙パックの取付け

① 2か所の留め具を外してタンクを外したらモーター部を逆さまにしてください。

② モーター部中央の筒に微粒子フィルターを奥まで差し込んで取り付けてください。

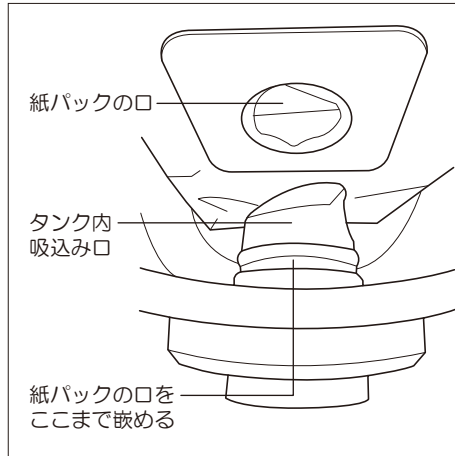
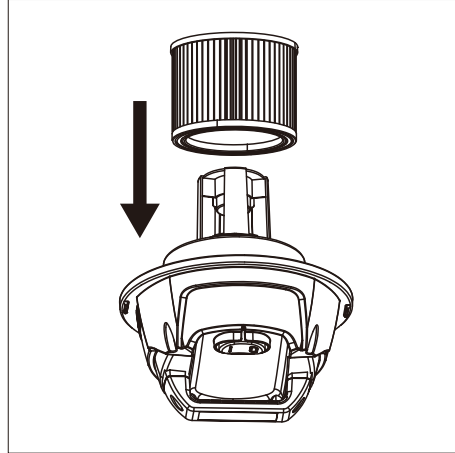
③ タンク内吸込み口に紙パックの口を差し込んでください。特に紙パックの口の下側が奥まで入るように紙パックの後ろから口の周りの四隅を押してください。

☑ タンク内吸込み口には抜け防止の溝があり、紙パックの口が溝より内壁側に嵌まっていないと吸引力が落ちて吸じん効率が落ちます。

④ 紙パックに微粒子フィルターが重ならないようにモーター部を取付けたら2か所の留め具で固定してください。

☑ 紙パックは消耗品です。吸い込みが悪くなったら紙パックの交換時期なので紙パックを外して新品と交換してください。

☑ 微粒子フィルターも適時、洗ってください。洗ったときは必ず完全に乾かしてから取り付けてください。湿気が残ったままだとカビや匂いの原因になります。



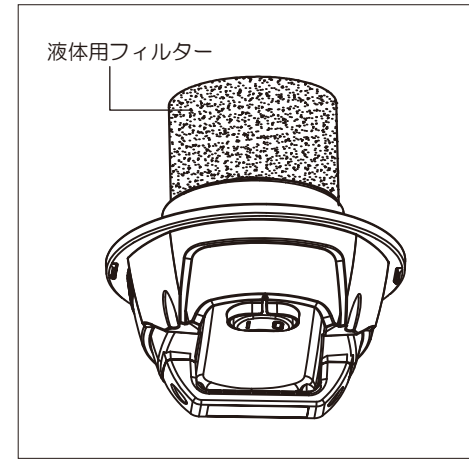
■液体用フィルターの取付け

① 紙パックと微粒子フィルターを取り外してください。

② モーター部中央の筒に液体用フィルターを取り付けてください。

☑ このフィルターは目の粗いスポンジ状のフィルターで液体中のゴミや固形物がフロートに入るのを防ぎます。

☑ 液体用フィルターは液体吸引にのみご使用ください。液体用フィルターで通常の使用をすると細かい粉塵がフィルターを通り抜けてモーター部に入り故障の原因になります。



■ホイールベースの取付け・取外し

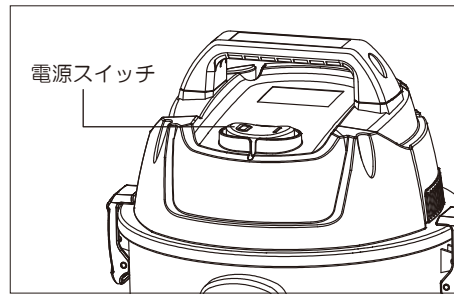
● ホイールベースは取り外すことができます。本体に対してホイールベースを右回りに15°ほど回すと外れます。本体を持って作業する時などホイールベースが不要な場合は外してください。

● 取付けは逆の手順で行ってください。

ご使用方法

■電源スイッチについて

- 本機天面に電源スイッチがあります。
○=切り (OFF)
| =入り (ON)
- 本機を使用しないときは必ず電源スイッチを切り電源プラグをコンセントから抜いてください。

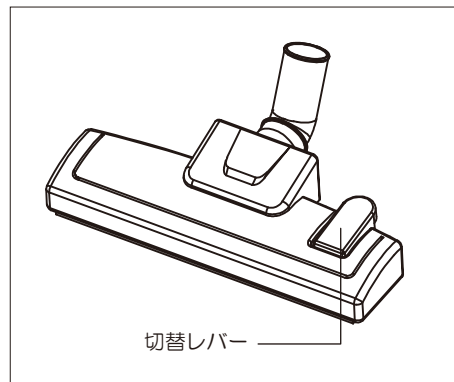


■ノズルの取付け

- 本製品には3種類のノズルが付属しています。用途に応じて使い分けてください。

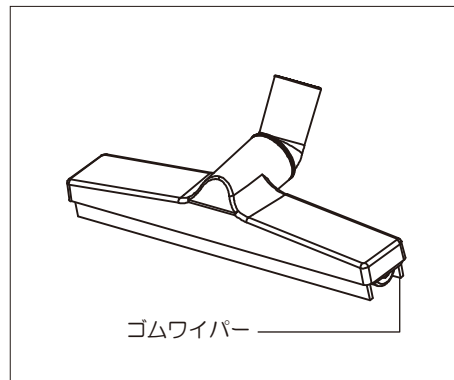
フロアノズル

- 通常はこのノズルを使用してください。切替レバーを切替える事でノズルの地面側にブラシが出し入れされます。
- タイルや床ではブラシが出ている方が効率的に吸込みが可能です。
- カーペットや畳などではブラシが出ない方が効率的に吸込みが可能です。



ウェットノズル

- 水や液体を吸う時に使用してください。前方に向かってゆっくり押しながら使うことで効果的にゴムワイパーが働きます。



隙間ノズル

- 狭い隙間や、平面ではない場所、電動工具などの凹凸のある箇所で使用してください。また、ブロウとして使用する時にも使用してください。

■蛇腹ホースの取付け

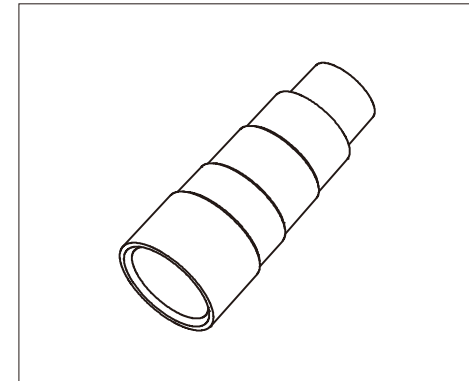
- 吸込み口に蛇腹ホースを差し込んだら、ねじりながら突き当たるまで差し込んでください。
- 取り外すときは蛇腹ホースを持ってねじりながら取り外してください。

■ストレートパイプの取付け

- ストレートパイプは3本付属しています。連続して繋げる事で1本の長いパイプになります。
- お好みで2本でも1本でも使うことができます。

■穴径変換アダプターについて

- 本機は穴径変換アダプターを付ける事で集じん機と接続可能な電動工具と接続することが出来ます。
 - 電動工具に接続することで主に切断・研磨系の作業時に排出される木くずなどを本機で吸い込むことが出来ます。
 - 電動工具の集じん機接続パイプの口径に合わせて穴径変換アダプターをカッター等でカットして口径を合わせてください。
- ※必ず口径が正確に合う訳ではありませんのでその際はテープ等で接続を補助してください。



■水・液体の吸込み作業について

- 水や液体の吸引作業が終わったら直ちにタンク内の液体を捨ててタンクを乾燥させてください。
- タンク内に液体を貯めたまま放置すると湿気がモーター部に入り錆びてしまうので故障の原因になります。

■フロート(液体流入安全装置)について

- 液体がタンク一杯になるとフロートが浮いてモーターの吸気口を塞ぎます。この状態では吸込みが出来なくなります。
- フロートが作動したらすみやかに電源を切り、タンク内の液体を捨ててください。
- 本体が倒れた時なども同様にフロートが作動しますので電源を切り本体を立て直してください。

■付属品の収納について

- モーター部の上面(2か所)、ホイールベースの上面(2か所)に延長管、ノズルの差込み穴が付いています。保管時に延長管を差し込むと便利です。

■ブロウ機能について

- モーター部裏側に排気口が付いています。こちらに蛇腹ホースを接続することで簡易的なブロウ(吹き飛ばし)機能が使えます。ブロウで使用する時は隙間ノズルが効果的です。

保守、点検について

- 汚れた場合は水で薄めた中性洗剤を含ませた布で拭き取ってから乾いた布で拭き取ってください。
- 微粒子フィルターや液体用フィルターは流水でホコリを洗い流した後、よく乾かしてください。
- 本機は湿気が少なく直射日光の当たらない場所で保管してください。
- 本機に異常が発生したらお買い上げの販売店または弊社にご連絡ください。

別売品のご案内

- 別売品についてはお近くのホームセンターでお取り寄せとなります。取り扱いが無い場合は弊社宛でご連絡ください。

蛇腹ホース	ストレートパイプ
フロアノズル	ウェットノズル
隙間ノズル	穴径変換アダプター
微粒子フィルター	液体用フィルター
紙パック 5枚入り	

よくあるご質問

動かなくなったのですが

- 電源プラグが抜けていないか確認してください。
- 電源プラグを直接コンセントに接続して動いた場合は延長コードが原因です。延長コードが長すぎたり、ドラム式でコードを巻いた状態ですと電圧不足で動かない場合があります。
- タンク一杯まで液体が溜まっていたり、本機を転倒させてフロートが作動している時は動作しますが吸いませぬ。
- 紙パックにゴミが溜まっていたり、微粒子フィルターが目詰まりしていても吸引力が弱くなります。
- 上記のいずれにも当てはまらない場合は故障の可能性があります。お買い求めの販売店もしくは弊社までお問い合わせください。

汚れたので洗いたいのですが

- 本製品はモーター部以外は水洗い可能です。洗った後は完全に乾かしてください。

液体用フィルターを付けずに液体を吸ってしまったのですが

- 紙パックは液体で濡れると破れて中のゴミが出てしまうのですぐに動作を止めて紙パックを交換してください。そのまま液体を吸う場合は紙パックを付けずに微粒子フィルターを液体用フィルターに替えてください。

液体吸込み時に本体を倒してしまったのですが

- 直ちに電源を切りモーター部を外してモーター部に液体が入らないようにしてください。万一、モーター部に液体が入ってしまった場合は使用を中止し弊社にご連絡ください。

液体用フィルターを付けたまま液体以外のゴミを吸引してしまいました

- 液体用フィルターは微粒子フィルターほど目が細くないため、埃や粉塵などはそのままモーター部へ通してしまうのですぐに微粒子フィルターに付け替えてください。

動作中に焦げ臭い匂いがした、煙が出た

- モーターが焼き付いている可能性があります。ただちにスイッチを切り本体を冷ましてください。